MIDI MAP

Trigger Modes

NAME	FIRMWARE	LED	PA DS
CUE	9x,41,pp	Hardware	9x,00-07,pp
LOOP	9x,42,pp	Hardware	9x,08-0F,pp
SAM PLE	9x,43,pp	Hardware	9x,10-17,pp
US ER	9x,44,pp	Hardware	9x,18-1F,pp

Trigger Pads

NAME	CUE	CUE(HOLD)	LOOP	LOOP(HOLD)	SAM PLE	SAMPLE(HOLD)	US ER	USER(HOLD)
1	9x,00,pp	9x,20,pp	9x,08,pp	9x,28,pp	9x,10,pp	9x,30,pp	9x,18,pp	9x,38,pp
2	9x,01,pp	9x,21,pp	9x,09,pp	9x,29,pp	9x,11,pp	9x,31,pp	9x,19,pp	9x,39,pp
3	9x,02,pp	9x,22,pp	9x,0A,pp	9x,2A,pp	9x,12,pp	9x,32,pp	9x,1A,pp	9x,3A,pp
4	9x,03,pp	9x,23,pp	9x,0 B,pp	9x,2 B,pp	9x,13,pp	9x,33,pp	9x,1B,pp	9x,3 B,pp
5	9x,04,pp	9x,24,pp	9x,0C,pp	9x,2C,pp	9x,14,pp	9x,34,pp	9x,1C,pp	9x,3C,pp
6	9x,05,pp	9x,25,pp	9x,0 D,pp	9x,2 D,pp	9x,15,pp	9x,35,pp	9x,1D,pp	9x,3 D,pp
7	9x,06,pp	9x,26,pp	9x,0 E,pp	9x,2 E,pp	9x,16,pp	9x,36,pp	9x,1E,pp	9x,3 E,pp
8	9x,07,pp	9x,27,pp	9x,0F,pp	9x,2F,pp	9x,17,pp	9x,37,pp	9x,1F,pp	9x,3F,pp

Additional Controls (Hex)

N AME	FIRMWARE
Trax knob	Bx,40,~3f/~41
Trax S W	9x,40,pp
Play/Pause	9x,45,pp
R everse	9x,46,pp
33rpm	9x,47,pp
45rpm	9x,48,pp
78rpm	9x,49,pp
Quartz Lock	9x,4A,pp
+-8	9x,4 B,pp
+-16	9x,4C,pp
+-50	9x,4 D,pp
Torque	Bx,4 E,0-127
Start/Brake	Bx,4F,0-127
Pitch	Ex,LSB,MSB

Dual Mode (Hex)

MODES	PA D 1-4	PA D 5-8
Cue+Loop	9x,00-03,pp	9x,08-0 B,pp
Cue+Sampler	9x,00-03,pp	9x,10-13,pp
Loop+Sampler	9x,08-0 B,pp	9x,10-13,pp

【技術仕様】

・モデル：マニュアルクォーツ MIDI ターンテーブル
・ドライブ：ダイレクトドライブ、クォーツコントロール、アッパートルク
　モーター：ブラシレス DC モーター
・回転数：33 1/3、45、78 回転
・ターンテーブル素材：アルミダイキャスト
・ブレイキング・システム：エレクトリック・ブレーキ
・ワウフラッター：0.01% WRMS
・S/N 比：≧ 55dB (1kHz,4mV INPUT)
・使用可能カートリッジ重量：3.5 - 8.5g(ヘッドシェル含 13 -18g)
・針圧調整範囲：0 - 3g
・寸法：458 x 144.6 x 354mm　・重量：9.7kg
・消費電力：14 W
・電源仕様：AC 100 V, 50/60 Hz (JP),AC 115/230 V, 60/50 Hz (EU/US)

カスタマーサポート

RP-8000 に関するお問い合わせは、下記サポート窓口までご連絡ください。
なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。ご登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■ DJ ソフトウェア用の MIDI マッピングファイルのダウンロードは、Dirigent サポートページをご参照ください。

■ Dirigent へのご登録方法：
Dirigent サポートページにアクセスし、Reloop オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■ Dirigent カスタマーサポート：
電話でお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。
また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

Dirigent サポートサイト：https://www.dirigent.jp/support/

電話番号：03-5159-1822（受付時間：平日 10:30～17:00）

Dirigent

RP-8000
日本語マニュアル

はじめに

この度は、"RP-8000" をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この機器を使用する前に、この取扱い説明書をよく読み、すべての指示に従って操作いただきますようお願いいたします。箱から Reloop RP-8000 を取り出してください。使用をはじめる前に製品が輸送される間に破損していないことを確認してください。電源ケーブルや筐体に損傷があった場合、製品を使用せずに販売店に連絡をしてください。

! 安全上のご注意

警告：電源ケーブル (100V、50/60Hz) を取り扱うときは十分にご注意ください。この定格電圧は深刻な感電につながる可能性があります。取扱説明書の定める使用方法を遵守されない場合の損害はいかなる補償請求も対象外とします。メーカーは、資産に対する損害、または安全上の指示を遵守しない不適切な使用による人身損害の責任を負いません。

- **本製品は完全な状態で工場を出荷しています。この状態を維持してリスクのないオペレーションを確実にするためにユーザーは、この取扱説明書に記載されている安全に関する指示と警告を読む必要があります。安全性と認可（CE）の理由から、本製品の未許可の改造、修正は禁止されています。本製品の未許可の修正に起因する損害の場合、どのような保証請求も除外される点にご注意ください。**
- 外部から交換可能な消耗部品を除いて、製品の内部はメンテナンスを必要とするパーツはありません。資格を有するスタッフがメンテナンスを行なう以外は、保証が適用されません。
- 規格に準拠したケーブルのみをご使用ください。すべてのジャックやブッシュが締められ、正しく接続されていることを確認してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にご確認ください。
- 本製品をセッティングする際に、ケーブルが鋭い物によって押しつぶされ、損害を受けないようにご注意ください。
- ケーブルが他のケーブルと接触しないようにご注意ください。電源ケーブルを接続する際は、十分にご注意ください。濡れた手でこれらのパーツに決して触れないでください。
- 電源ケーブルは、耐震性のあるコンセントに接続してください。使用可能な唯一の電源サプライポイントは、公共の電源供給ネットワークの仕様に適合したコンセントです。
- 電源をいれる際は必ずセッティングが完了し、電源プラグの接続を確認した後行ってください。また電源プラグを抜く際は、メインスイッチがオフになっている事を確認してからプラグを持って電源コンセントから引き抜いてください。
- 使用しない場合、また掃除を行う前には本製品を電源コンセントから外してください。その際、必ずケーブルのプラグを持つようにしてください。ケーブルを持って引き抜かないようにしてください。また長期間ターンテーブルを使用しない場合には、ダストカバー（別売）などをしようしてください。
- 本製品は、水平の安定した不燃性の高い場所に設置してください。
- 本製品を設置し、操作を行う場合には、激しい衝撃を与えないでください。設置する場所は、本製品が過度の熱、湿度、ほこりにさらされない場所に設置してください。ケーブルが煩雑に置かれていないことを確認してください。上記を守れない場合、使用者を危険にさらす場合があります。
- 本製品の上に液体をこぼしやすい容器をそばに置かないでください。万が一、液体が本製品内にこぼれた場合、直ちに電源プラグを抜いてください。再度使用する場合には、資格のあるサービス技術者によって確認された製品をご使用ください。製品内部への液体の混入による損害は保証の対象外となります。
- 極端な高温 (35° C 以上)、または極端な低温 (5° C 以下) で本製品を使用しないでください。直射日光、ラジエーター、オーブン (閉じられた車内も含みます) などの熱源に直接触れるような場所に本製品を置かないでください。冷却ファンや通気 孔をふさがないでください。常に充分な換気を確保してください。
- コントロールスイッチ、パフォーマンスボタンなどを掃除する際は、湿らせたクロスで優しく拭いてください、洗浄スプレーや石油系洗剤、界面活性剤などは使用しないでください。
- 操作を開始する際、とボリュームコントロールを最小値に設定しておく必要があります。スピーカーを痛めないように、スピーカーの電源をいれてからは音量をあげるまで 8～10 秒ほどおいてから操作を開始してください。
- 子供が扱う事を想定して設計、製造されていないため、なるべく乳幼児、子供の手の届かない場所でお使いください。
- 商業施設での使用の際は事故防止のため定められた規制に従って使用してください。
- 学校やワークショップでの使用の際はこの取扱説明書を読み、訓練されたスタッフの監理の下で使用してください。
- トラブルなどが発生した場合、すぐ参照できるように安全な場所にこの取扱説明書を保管してください。

注意：輸送、返送を行う際は、輸送の間に起こりうる損害から機材を保護するために、お買い上げ時に梱包されていたものをご使用ください。不適当な梱包により引き起こされる損害については、保証の対象外となります。メーカーは、ディーラーに返却される場合でも、不適当な梱包に寄る損害は一切責任を負いません。

規則に従った使用方法について

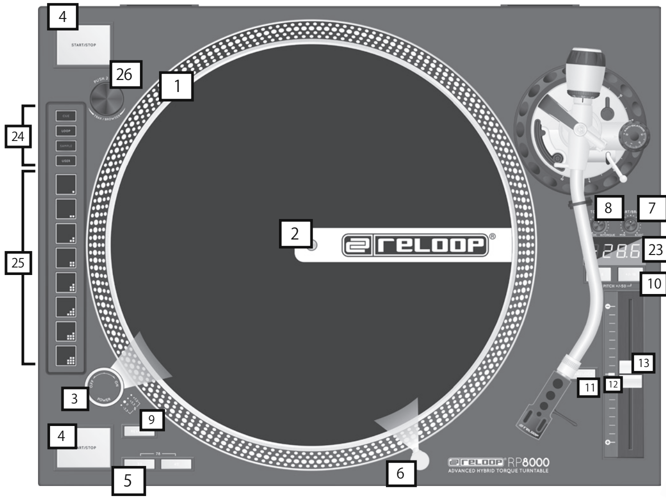
- 本製品は 12 インチおよび 7 インチの Vinyl レコードを再生する為のプロフェッショナル・ターンテーブルです。DJ ミキサーなどに接続しての操作を想定しています。
- 本製品は、電源ケーブルを介して 100V、50/60Hz の AC 電源に接続するために認可されており、室内使用専用に設計されています。
- 取扱説明書に記載されている目的以外のために本製品を使用すると製品を損傷する場合があり、それは保証の対象外となります。また、指定した目的に準拠しない使用方法ではサーキット (基盤) のショート、火災、電気ショックなど、危険を伴う場合があります。
- メーカーによって定められたシリアルナンバーは、保証の権利を証明するために大切に保管してください。

メンテナンス

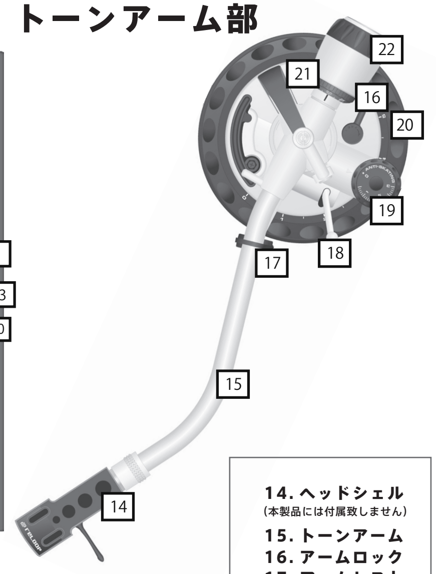
- 定期的に電源ケーブル、または筐体への損傷、ならびに本体のパーツ（ノブ、スライダーやフェーダー)、製品への取り付けに関する技術的な安全をチェックしてください。
- 安全な操作が可能ではないと仮定される状況下では、直ちに本製品の使用をやめ、安全を確保してください。保管時は電源プラグをコンセントから外してください。
- 本製品が、好ましくない状況下、または輸送ストレス後の長期間保存によりデバイスが機能していない、または目に見える欠陥を負ったときは、安全に動作できない場合があります。

各部の名称

コントロール部

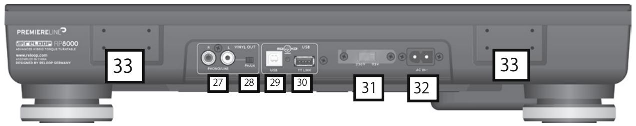


トーンアーム部



14. ヘッドシェル
(本製品には付属致しません)
15. トーンアーム
16. アームロック
17. アームレスト
18. アームリフト

リアパネル部



1. プラッター
2. センタースピンドル
3. 電源スイッチ
4. スタート / ストップ・ボタン
5. 回転数切替ボタン (33,45,78 回転)
6. スタイラスライト・ジャック
7. ブレイキング調整
8. トルク調整
9. リバース・ボタン
10. ピッチレンジ・セレクト
11. クォーツロック
12. クォーツロック LED
13. ピッチフェーダー

19. アンチスケーティング・ホイール
20. アーム高調整
21. 針圧調整目盛り
22. バランス・ウェイト
23. ピッチ LCD
24. パフォーマンスモード切替ボタン
25. パフォーマンスボタン
26. トラック選択エンコーダ
27.RCA アウトプット
28.Phono/Line 切替スイッチ
29.USB ポート
30.TT-LINK ポート
31. 電圧切替スイッチ
32. 電源ケーブル・ソケット
33 ターンテーブルカバーマウント

接続と設置

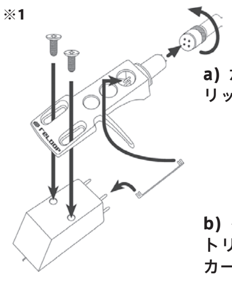
1. プラッター -1- をセンタースピンドル -2- に取り付けます。
2. 付属のスリップマットをプラッターに乗せます。
3. バランス・ウェイト -22- をトーンアーム -15- に取り付けます。

注意：針圧調整目盛りの最初まで取り付けてください。

4. カートリッジを取り付けたヘッドシェル -14- をトーンアーム -15- に取り付けます。(ヘッドシェルの取り付け) ※1
5. 付属のスタイラスライトをスタイラスライト・ジャック -6- に取り付けます。
6. 付属のオーディオケーブルとアース線を RCA アウトプット -27- に接続します。
7. 付属の電源ケーブルを電源ケーブル・ソケット -32- に接続します。

(ヘッドシェルは本製品には付属いたしません)

※1



a) 左図にならって、ケーブルとカートリッジを接続します。
I White(L+)：左、プラス
II Blue(L-)：左、マイナス
III Red(R+)：右、プラス
IV Green(R-)：右、マイナス

b) ケーブルの接続が完了したら、カートリッジ付属のネジでヘッドシェルとカートリッジを固定します。

注意：ダイレクトマウントタイプのカートリッジを利用される場合は、ヘッドシェルは必要ありません。

操作方法

1. ゼロ・バランスの調整
アームリフト -18- を一番下のポジションにします。バランス・ウェイト -22- を外側方向に回して、トーンアーム -15- が水平 (ゼロ) にバランスが取れた状態にします。
水平になったら、バランス・ウェイト -22- の目盛り「0」をトーンアームの中心に合わせてください。

2. アンチスケーティングの調整
アンチスケーティング・ホイール -19- を針圧と同じ値に調整してください。

Tips：スクラッチプレイなどを行う場合は、目盛りを調整してご利用ください。

3. トーンアームの高さ調整
アームロック -16- が "Lock" になっていないことを確認して、アーム高調整 -20- を回して高さを調整してください。

注意：トーンアームの損傷を回避する為に、最大で 6mm の高さを保つようにしてください。

4. 電源を入れる
電源スイッチ -3- を回して電源を入れます。電源 LED とスタイラスライトが点灯します。

5. 再生・停止
Vinyl レコードをプラッターの上に乗せ、レコードに適正な回転数を切替ボタン -5- から選択します。

注意：78 回転を選択する場合は、切替スイッチを両押ししてください。

スタート / ストップ・ボタン -4- を押して、ターンテーブルを回転させます。
アームリフト -18- を下げて、トーンアーム -15- をゆっくりと下げます。

注意：トーンアームを手動で下げる場合は、カートリッジを傷めないように気をつけてください。

リバース・スイッチ -9- を押すと、ターンテーブルは逆回転します。

6. スタイラスライト
スタイラスライトはターンテーブルの電源 ON 時には常に点灯しています。消灯させたい場合は、ジャック -6- からスタイラスライトを取り外してください。

7. 回転スピードの調整
ピッチフェーダー -13- を使うことで、レコードのスピードを調整することができます。
ピッチの幅（レンジ）を調整する場合は、ピッチレンジ・セレクト -10- を利用して、±8% か ±16% を選択することができます。

Tips：±50% にする場合は、ピッチレンジ・セレクトを両押ししてください。

クォーツロック -11- が有効になっていると、ピッチフェーダー -13- のポジションが ±0% と同じ動作になり、ピッチフェーダー -13- を動かしても回転数は変わりません。
クォーツロックの有効 / 無効の確認はクォーツロック LED-12- で確認します。

8. ブレイキング調整
ブレイキング調整 -7- を使うと、ターンテーブルが回転するときの立ち上がりと停止までの時間が調整できます。

9. トルク調整
トルク調整 -8- を使うと、モーターのトルクを 1.6kg/cm から 4.5kg/cm の間で調整できます。

MIDI マッピング

RP- 8000 は、USB ポート -29- 経由で MIDI 対応のソフトウェアを制御することができます。そして Serato Scratch Live を始めとする多数の DJ ソフトウェアに対応し、Windows 7/8, Mac OS X 以上の機種であれば特別なドライバを必要とせずに自動的に認識されます。

1. パフォーマンス・モードセクション
パフォーマンス・モード切替ボタン -24- は 4 つの組み合わせから成り、キューポイント制御、ループ・プレイなど瞬時にプレイ・モードを切り替えることが可能。ユーザー・モードではボタンへ割当が自由に行えるので、プレイスタイルに合ったマッピングもできます。

- CUE モードがアクティブの場合、8 つのパフォーマンスボタン -25- を介して最大 8 カ所のキューポイントのトリガーが行えます。CUE ボタンを押しながらパフォーマンスボタンを押す事で、そのパフォーマンスボタンに該当する CUE ポイントが削除されます。
- LOOP モードがアクティブのある場合、オートループの長さを設定することができます。
- サンプラー・モードでは使用している DJ ソフトウェアに対応するサンプルスロットがアサインできます。サンプルボタンを押したまま、パフォーマンスボタンを押すと解除できます。
- ユーザーモードはマッピングが割り当てられていない状態で、自由にマッピングすることができます。Serato Scratch Live では最初にオートループが割り当てられています。

※ Scratch Live、NI Traktor Scratch Pro2 のマッピングファイルは当社ウェブサイトよりダウンロードいただけます。

2. トラック選択エンコーダ -26-
このエンコーダを回せば DJ ソフトウェアのアクティブプレイリストを参照でき、押して、選択した曲は、それぞれのデッキにロードされます。

3. デュアル・モード
RP-8000 は、パフォーマンスモード - ボタン 24- の組み合わせに応じて、以下の表のようにパフォーマンスボタンのマッピングを分けることができます。

MODES	パフォーマンスボタン 1-4	パフォーマンスボタン 5-8
CUE+LOOP	CUE Points 1-4	Loop Lengths 1-4
CUE+SAMPLE	CUE Points 1-4	SAMPLES 1-4
LOOP+SAMPLE	Loop Lengths 1-4	SAMPLES 1-4

デュアル・モード解除するにはパフォーマンスモード - ボタンのいずれかを押します。

4. デッキ選択
お使いの DJ ソフトウェアの様々なデッキを RP-8000 に割り当てることができます。

1. RP-8000 がオンになっていることを確認してください。
2. トラック選択エンコーダ -26- を 3 秒以上押し続けます。ピッチ表示に、現在使用されているチャンネルを示します。初期値では、「CH-1」はデッキ A に、「CH-2」はデッキ B、「CH-3」は、デッキ C に対応し、「CH-4」に対応するデッキ D が割り当てられています。
3. 使用したいチャンネルを選択するためにトラック選択エンコーダを回します。
4. トラック選択エンコーダを押して、チャンネルを確定します。

5. ターンテーブルリンク
搭載される USB ポートによって、最大で 4 つのターンテーブルをリンクすることが可能です。この機能により DJ ソフトウェアとのデッキの割当も容易になります。USB ポート -29- から USB ケーブルをコンピュータに接続するとコンピュータに接続されたターンテーブルは常にマスターのターンテーブルで、自動的にデッキ 1 から「CH-1」が割り当てられます。第二のターンテーブルは、マスターターンテーブルに USB で TT-LINK-30- ポートに接続するとデッキ 2 に割り当てられます。